

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センターめばえ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年10月6日～令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	令和7年10月6日～令和7年10月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性に合わせたクラス編成	<ul style="list-style-type: none"> 各グループのコンセプトを定めており、適切なアセスメントに基づき、子どもの特性等に考慮しながらクラスを検討している。 年齢や発達の成長に伴い、クラス移行を行うことで子どもさんに合った活動や支援の提供を行っていった方がよいと判断した場合、保護者への十分な説明を行い、同意を得て年度途中でも以降をしている。 親子療育等で全体で交流できる場も設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で十分な検討を進め、子どもの発達、課題に合わせた活動提供の充実を図る。 職員の知識、技術のスキルアップを目指す。
2	・親子療育や社会体験等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 親子療育や療育参観の実施。 茶話会や就学に関する保護者を対象とした研修等の実施。 子どもの課題に合わせた社会体験の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子療育や茶話会等の実施回数の見直し。 アンケートを配布し、参加曜日や取り組みたい内容等の希望を取り、参加率の向上を図る。
3	・職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 職員の意識や知識の向上、発信力を高めるために毎月の事業所内研修の講師を職員が担っている。 新人職員を対象とした法人研修が毎月実施されている。 外部研修への積極的参加を促している。 特別支援学校等の見学も積極的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修・法人研修・外部研修等を通して支援者の知識、技術のスキルアップを目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者支援、きょうだいへの支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士で交流する場の検討や企画が必要。 親子療育時にきょうだい児向けの企画。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子療育や保護の交流の場の実施回数や内容の見直しを行い、保護者同士の交流の機会を増やせるよう検討する。また、きょうだい児対象の行事を検討する。
2	・地域との交流や連携、協力体制	<ul style="list-style-type: none"> 地域のこども園との交流（年4回）以外の交流の他にも地域交流の場の検討。 地域の方を招待する行事の企画。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に向けての見学会やイベント等が実施できないか検討する。 地域の行事やイベント等の情報を集めて検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		発達支援センターめばえ（児童発達支援）						公表日		令和 8年 2月 1日				
								利用児童数		48	回収数		35	
		チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		33	2			・もう少し部屋が広い方が良いと思います。		・基準以上のスペースは確保されていますが、活動内容や状況に応じて別室や園庭等を活用しています。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		31	1		3	・3クラス合同で親子療育をした時は、フリーの先生がもう少しいたらと思いました。 ・クラスが分かりやすく分かれている段差もなくマットレスもしかれている。		・職員の配置につきましては、基準を満たしておりますが、状況に応じて訪問支援員や看護師がともに見守りを行うことがあります。 ・親子療育等に関する職員配置に関し、意見を踏まえ、配置を検討して参ります。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		33			2			・子どもたちが安心して過ごし、自分で取り組みやすい環境となるように、写真カードや絵カード等を活用し視覚的な配慮に努めています。また、各グループの利用者の特性に応じた環境設定を行っています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		33	1		1			・子どもさんの通所前後に毎日清掃と消毒を行っています。また、月に1度施設内の美化点検を実施し、必要に応じて改修や清掃を行っています。				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		30	4		1	・専門の資格保有者（作業療法士、心理士、言語聴覚士）との面談の機会を設けてもいいと思う。（保護者と直接・希望者に対し）		・専門の資格保有者（作業療法士、心理士、言語聴覚士）との面談につきましては、ご希望があれば機会を設けられますのでお気軽にお声かけください。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		34	1			・何の支援を目的とした活動なのか説明があると良い。		・貴重なご意見ありがとうございます。活動についてご不明なことがありますからいつでもご質問ください。 ・児童発達支援ガイドラインにおける本人支援の5領域（①健康・生活、②運動・感覚、③認知・行動、④言語・コミュニケーション、⑤人間関係・社会性）を踏まえた活動内容、支援内容となっています。				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		34	1					・半年ごとの定期的な面談を実施し、子どもさんやご家族のニーズまた、発達段階に応じた支援計画を作成しております。 ・面談以外の場合でも随時対応しておりますので、困ったことや悩みなどお気軽にご相談ください。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		35				・ガイドラインがどの様に制定されているのか保護者も知る機会が欲しい。		・貴重なご意見ありがとうございます。支援内容に子どもさんの課題に合わせて本人支援・家族支援・移行支援及び地域支援と項目を分けながら支援内容を設定し、作成しています。ガイドラインの詳細については説明の機会を設けることができるよう検討して参ります。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		30	4		1	・子どもの様子だけでなく、どの様に支援してくださっているのかがわかる様説明や報告をしてほしい。		・貴重なご意見ありがとうございます。今後、連絡帳や面談時を通して職員の支援の仕方について共有を行うことができるよう努めてまいります。				

保護者への説明等	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	3		2		・子どもさんや各グループの実態に応じて活動プログラムを提供しております。立案時に職員間で意見を出し合い、プログラムが固定化しないよう取り組んでおります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	6	3	8	・機会があるようですがグループや通所日等の関係で活動に参加したことないです。 ・お店屋さんごっここのイベントに参加できれば嬉しいです。近隣の保育園と合同等	・昨年度に引き続き、にじグループのお子さんに関しましては、隣接する石谷の森子ども園の園児との交流を実施しております。ほし、そらのグループでも実施できるよう検討して参ります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1		1		・契約時に運営規定、負担額などの利用するにあたって必要な内容について説明しております。今後も分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。ご質問等ありましたらいつでもお問い合わせ下さい。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					・支援計画更新の際に電話連絡等にて支援計画の説明を行ってから署名をいただいております。ご質問等ありましたらいつでもお問い合わせ下さい。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	1		1	・参加したくても仕事で現地で参加できない人のためにzoomオンライン参加を可能にしたり、動画(録画)を観れるようにして頂けるとありがたいです。	・保護者の方や地域を対象にしたペアレントプログラムを毎年実施しております。オンライン参加について今後検討して参ります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35				・連絡帳にはいつも分かりやすく1日の様子が書かれていて、欠席した時など電話してください、定期的に先生と話ができる安心できています。ありがとうございます。 ・設定活動以外の子どもの様子、自由遊びの様子も教えてほしい。	・貴重なご意見ありがとうございます。今後も子どもたち、保護者ともに安心できるように丁寧な情報共有に努めてまいります。 ・連絡帳や面談を通して自由あそびや給食時の様子について共有を行ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35				・自閉症、発達障害の子どもの接し方、声掛けの仕方の読みやすく、分かりやすい、おすすめの書籍などあれば紹介したりして頂けるとありがたいです。	・定期的に面談を実施させていただいています。今後も専門士とも連携を図りながら充実した助言ができるように努めてまいります。 ・貴重なご意見ありがとうございます。書籍等の紹介について紹介の場を設けることができるよう検討して参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	3				・子どもさんの様子やめばえでの支援につきましては、主に連絡帳を通してお伝えしております。不明な点や気になること等ありましたら、いつでもご連絡ください。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	1	8	・親子療育の開催が大分減り、保護者と話す機会が少なくなった。 ・保護者会、茶話会はあっても兄弟同士の交流は特にない様に思う、兄弟同士の交流は必要性があるか。	・貴重なご意見ありがとうございます。親子療育、茶話会等の開催について保護者の方のご意見を踏まえながら来年度の実施の仕方について検討を進めて参ります。また、親子療育の際にきょうだい児の参加も受け付けておりますので是非ご検討ください。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		3	(未記入: 5) ・通所しぶりが続いた際、対応法を検討して下さったり、可能な事を行って下さったりした。できる対応をしようとする姿勢を見せて下さった。	・ご相談や申入れについての体制を常に整えておりますので、電話、連絡帳、送迎時などいつでもご相談ください。今後も迅速かつ丁寧な対応を心がけてまいります。

非常時等の対応	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1			(未記入：5) ・連絡帳、電話でやりとりがあります。バスの送迎時伝えてくださるスタッフ紹介顔写真の紹介があると尚いいと思う。	・貴重なご意見ありがとうございます。職員一覧については通所案内や廊下掲示にてお知らせしておりますが、お知らせの仕方については検討を行って参ります。 ・連絡帳や電話連絡にて、その都度情報の共有や支援の手立てなどをお伝えするよう努めています。気になることがありましたら、ご連絡ください。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	3		3	(未記入：5)	・定期的にホームページで活動報告を行っています。また、れんらくアプリにて、毎月「めばえ便り」を発行し活動の様子や行事予定表をお知らせしております。是非ご確認ください。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			1	(未記入：5)	・子どもさんや保護者の皆様の情報については、情報提供同意書に基づき同意を得た上で情報提供を行っております。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	1	2	(未記入：5) ・事故防止に対して行っている対策が具体的にあれば説明してほしい。	・各種マニュアルを整備し、研修や訓練を行っています。また、マニュアルや緊急時のフローチャート等を事業所内に掲示し、いつでも見ることができるようにしておりますので施設にいらした際に是非ご確認ください。 ・事故防止について説明が不足しており申し訳ありませんでした。今後、対応策等説明していくよう心がけてまいります。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28			2	(未記入：5)	・火災や地震、土砂崩れを想定した訓練を毎月実施しております。また、不審者対応訓練や行方不明者捜索訓練を年に1～2回実施しております。訓練についてめばえ便り等を通してお知らせしておりますので是非ご確認ください。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1			(未記入：5) ・昨年親子療育でシーツブランコをした際、クッション製のものを何もしかず固い床の上でしていた為、あやまって落下してしまうと頭を打つ事故につながると思った。危機管理を強化してほしい。安全のための計画の周知をしてほしい。	・ご不安な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。活動や遊びの際は安全面に留意をして取り組んで参ります。 ・各種マニュアルの整備と、安全点検や危険箇所の確認等を毎月1回実施しております。マニュアルについては通所案内に掲載、廊下にて回覧を行っておりますので是非ご確認ください。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1		2	(未記入：5) ・帰宅前にお電話で説明、連絡してくださり、ありがとうございます。 ・スタッフさんが子どもを持ち上げ、小走りしてトイレに連れて行った時があり、走らないようにして頂きたい。落下防止の為。)	・トイレ誘導等ご不安な思いをさせてしまった申し訳ありませんでした。全職員に安全面の配慮、危険予知意識を高めることができます。 ・怪我等が発生した際には、看護師が適切に処置を行い、保護者へは速やかに状況説明の連絡を行うよう徹底しております。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	28		1	1	(未記入：5)	・子どもさんが安心して過ごせる環境づくりに今後とも取り組んでまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	27		2	1	(未記入：5) ・同じ車をみかけると笑顔で「バス！バス！」と言います。 ・毎日楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・「めばえ楽しかった」と言って毎回帰ってきますし、朝も「早く行きたい。」と言って準備しています。	・貴重なご意見ありがとうございます。子どもさんたちの笑顔や成長が私どもの喜びや励みになっております。今後も楽しく通所していただけるよう職員一同取り組んでまいります。
満足度	29 事業所の支援に満足していますか。	29	1			(未記入：5) ・とても満足しています。 ・スタッフさん達は優しく親切で親身になって寄り添って下さり、話し方も礼儀正しい方が多い。めばえの事業所に通所でき感謝している。	・今後とも満足していただけるよう職員一同努めてまいります。ご質問等ありましたらいつでもお問い合わせ下さい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援センターめばえ(児童発達支援)					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・基準以上のスペースを確保しています。また、利用者の状況や活動内容に応じて別室を使用する等行っています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・規定に沿って職員を配置しています。必要に応じて、グループ間での連携を図っています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・各グループの実態に応じて環境設定を行ったり、流れカードや絵カード等を用いたりしています。怪我や誤飲等に繋がらないよう日々環境設定や玩具の点検を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・通所前後に清掃、玩具等の点検を行っています。また、毎月施設内の点検し、修繕を行うことで安心して過ごせるよう取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・活動内容や子どもの課題等、必要に応じて別の部屋を活用したり、パーテーションで区切ったりしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・毎月、課題検討会や職員会議、ケース会議等で業務改善等に向けて話し合い、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・年に1回保護者等アンケートを配布し、全職員に周知を行っています。また、ご意見等を踏まえ来年度への取り組み等検討を行っています。また、親子療育等の行事後にアンケートを依頼し、改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・クラス会議、課題検討会議、職員会議等で職員から意見を聞き、検討する場を設けています。 ・年度末等に職員からアンケートを取り、行事や研修等に関して意見を聞き取り、反映させています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・定期的に第三者評価を受審しており、結果を基に業務改善に繋げています。	・令和7年12月に第三者評価を受審しました。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・年間計画を立て、事業所内研修・法人内研修を実施しています。職員が事業所内研修の講師を務めたり、外部研修に参加し伝達講習を行なったりすることで資質の向上に努めています。また、リモートを含む、外部研修にも積極的に参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援ガイドラインにおける5領域の各項目に応じた支援プログラムを作成し公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・半年に1回以上、保護者と面談を実施し、ニーズや課題の把握をしています。客観的に分析し計画を作成するために、アセスメントツールを活用したり、専門職からのアドバイスを取り入れたりしています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ケース会議等で支援の進捗状況を共有した上で保護者と面談を行っています。また、支援計画検討会議を実施し、児発管、担当職員、クラス職員で計画の妥当性について確認しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・活動前に支援計画の内容を確認し、計画内容に沿った活動目標の設定や活動後には振り返りを行ったり、ケース会議では進捗状況の確認を行ったりしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・法人で統一の標準化されたアセスメントツールを活用しています。 ・子どもの実態に応じて、発達検査を実施しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・支援計画の様式を見直し、面談や日常のやりとりで得られた情報を基に、発達支援・家族支援・地域支援等の観点から課題を整理し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動内容について職員間で意見を出し合いながら作成を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・各クラスの特性や課題に合わせた活動を提供し、職員間で話し合いながら固定化しないよう作成を行っています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの実態に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせながら計画に反映しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・日課計画案を事前に職員間で回覧を行い共有しています。当日は活動前に流れや役割分担等について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後には、振り返りを行い、子どもたちの様子について共有したり、活動について反省点を出し合ったりしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々子どもたちの様子を支援計画に基づいてケース記録にて記録を行い、支援の検証に繋げています。 ・支援計画の内容だけでなく、排泄の有無や食事の摂取量、体調、気付いた点なども記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・クラス会議にて職員間で進捗状況を確認し合った後で保護者とモニタリング面談を実施しています。また、環境の変化があった場合等必要に応じて適宜見直しを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者、クラスの担当者が出席し、子どもの様子や支援内容等について関係機関と連携を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保健センターで開催される親子教室に職員を派遣したり、併行先の幼稚園や保育園との情報交換を行ったりしています。また、子どもに応じて緊急時の対応について保護者と共有し、全職員に周知を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行する際は、情報提供シートを作成し情報提供を行っています。また、保育所等訪問支援を活用し、相互理解に努めています。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供シートを作成し、必要に応じて電話連絡や訪問にて情報共有を行っています。 ・必要に応じて、保育所等訪問支援の活用を提案しています 	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会として、地域の児童発達支援センター会議への参加や事業所、保育園や幼稚園、学校等と連携し、勉強会やグループワークを通して地域全体の質の向上に繋がる取組みを行っています 	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・多職種からの助言をいただきながら支援を行っています。 ・権利擁護研修や苦情解決研修等様々な外部研修に積極的に参加しています。 	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・参加した職員用より、会議などを通して、全体周知を図っています。 ・児童発達支援管理責任者が児童発達支援センター会議等へも参加しています。 ・行政が主催する総合発達相談会に職員を派遣しています。 	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の認定こども園と交流を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も交流の機会を設けることができるよう検討して参ります。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やバス送迎時に情報共有を行っています。必要に応じて、電話連絡等を行い、子どもの発達について共通理解を深められるように取り組んでいます。今後も活動の様子や普段の様子等子どもさんの様子について丁寧にお伝えできるよう取り組んで参ります。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もペアレントプログラムを実施し、複数の保護者の方に参加していただきました。 ・保護者向けに開催案内を配布しQRコードやGoogleフォームを活用し、申し込みがしやすいようにしています。 ・就学に関する研修や茶話会、親子療育等を実施しています。 	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者より契約時に運営規定や利用者負担等について説明を行っています。変更があった場合には文書にてお伝えしています。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回以上、保護者と面談を実施し子どもやご家族の意向を踏まえ、計画の見直しを行っています。 	
保護者	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して、支援計画を提示し、各項目に沿って支援内容について説明を行い同意を得て署名をいただいています。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談以外にも随時相談を受け付けています。また、連絡帳や送迎時の保護者の変化に気付けるよう努めています。 	
	39	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントプログラム、親子療育や茶話会等を通して保護者同士で交流する場を設けています。 	

△ の 説 明 等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・相談受付担当者や責任者、第三者委員の体制を整え、契約時に受付担当者等を説明させていただいている。相談や申し入れがあった際には職員間での共有、改善に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・毎月めばえ便りを作成し、活動の様子や行事等をアプリで送信しています。また、ホームページでも行事や日々の活動について写真も合わせて掲示しています。	・HPの更新を連絡アプリにて配信することで保護者の方への周知を行います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報保護規定に基づき対応を行っており、個人情報の取り扱いについて、契約時に説明を行い同意を得ています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・子どもたちの状況に応じた特性を踏まえ、視覚的ツールを用いて手本提示を行ったりと積極的に意思疎通ができるように取り組んでいます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・公開療育やペアレントプログラム、地域の認定こども園との交流を通して地域に開かれた事業運営を行っています。 ・実習生の受け入れ、各行事にボランティアを募集しています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・各マニュアルの整備を行い、発生を想定した訓練を通して職員へ周知を行っています。 非常災害マニュアルはホールへ掲示しつつでも閲覧できるようにしています。	・保護者への周知の仕方については再度職員間で検討し、マニュアルの周知を進めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・自然災害発生における業務継続計画を策定し、職員研修や災害を想定したシミュレーションも実施しています。また、毎月の避難訓練で火災や地震、土砂災害、不審者対応、行方不明者対応を想定した訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・契約時にアセスメントを行い際、服薬状況や予防接種の有無、既往歴、生育歴等の確認を行っています。てんかん発作や熱性けいれん等によっては、看護師も含めて確認、共有を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・指示書に基づき、栄養士や調理委託業者と連携を図り個別に対応しています。提供時にはお盆やお皿の色を分けて、確認を行っています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画に基づいて、必要な研修を実施しています。また、月末防災美化点検や日々の掃除や消毒を徹底し、安全を確保した上で支援を行っています。	
△ の 非 常 時 等 の 対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・契約時に安全計画についても説明を行っています。また、事業所説明会で全体周知を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・ヒヤリハット報告書を作成する際、クラス間で再発防止策まで検討し、全職員へ共有しています。また、朝礼での周知も行っています。 ・事故防止委員を中心とし、半年ごとに集計された結果を基に傾向の分析も行い、周知を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・人権擁護委員を中心に虐待防止に関する情報収集や啓発に努めています。事業所内外の研修にも積極的に参加し、職員への周知・意識向上に努めています。	

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・現在、身体拘束を行う事例はありませんが、身体拘束等の適性化のための指針を整備し必要に応じて対応できる体制を整えています。	
----	--	-----------------------	--	---	--